



長崎市立手熊小学校だより

第1号

手熊っ子通信

令和6年4月8日

校長 高木 留美子

令和6年度 スタート!①~【手熊っ子通信】と名前を変えました

本日4月8日(月)、子どもたちにとっての新たな学年がスタートいたしました。
今年度は、10日(水)に入学してくる予定の6名の1年生を加えた34名の子どもたちと教職員全員で日々の学びや暮らしを創っていきます。
今年度からは、「手熊っ子通信」という学校通信にて、学級の様子、行事の様子などをお知らせします。よろしくお願いいたします。
10日(水)の入学式の際に児童数が確定しますので、教職員の紹介は次号(4月10日号)にていたします。

新しい学年になって頑張ることを6年生2人が発表しました。

信頼される6年生になるために

六年 〇〇〇〇

五年生を振り返って、楽しかったことやがんばったことなどを発表します。
楽しかったことは、休み時間にみんなと遊んだことです。主に、三歩当てや鬼ごっこをして遊びました。特に三歩当てを何回もしていると、投げたりキャッチをしたりするのが少し上手くなりました。

頑張ったことは、テキパキと動くことです。前は、今より行動が遅かったので、体操服に着がえる時などにみんなを待たせってしまうことが多かったです。でも、責任をもって行動することで、待たせることを大きく減らすことができました。

私のこれからの課題は、何事も忘れないことです。私は覚えるのが苦手なので、覚えなければいけない事が多い社会科が苦手です。特に、地名などを覚えるのが苦手です。でも、自主学習などの工夫をして、しっかりと覚えられるようにがんばります。

春休みにがんばったことは、二つあります。

一つ目は、生活リズムを整えることです。寝る時間が遅くなってしまったり、朝に起きられなくなってしまったり、メディアの時間が長すぎると、目が悪くなってしまったりからです。だから、寝る時間やメディアの時間などを決めて規則正しい生活を心がけました。

二つ目は、宿題を計画的にすることです。後回しにしすぎても、早く終わらせすぎても良くないので、一日に何ページするかを決めて、毎日しっかりとやり切りました。この二つをしっかりと守ることで、じゅうじゅうした春休みになったと思います。

六年生での目標も二つ立てました。

一つ目は、みんなのお手本になることです。最高学年として、まずは私がきちんとまわりやルールを守るようにします。そして、手熊小をより良い学校にしていきたいです。

二つ目は、たよれる6年生になることです。去年の6年生のような、しっかりといて、たよれる6年生になります。そして、先生たちからも「たよれて信頼できて、みんなのお手本となる6年生だな。」と思われるように頑張ります。

たよられる六年生になるために

六年 ○○○○

昨年度、小体会の球入れに出場しました。放課後の練習では、チームのみんな
で声を出し合い、助け合いながら試合に挑んだことが心に残っています。

楽しかったことは、体育の時間のバレーの授業です。小体会と同じように、チー
ムのみんなで声を出して協力し、パスをつなげて点を取れた時はうれしかったで
す。小体会やバレーの授業を通して、声を出すことでチームワークを発揮しやす
くなるということに気付きました。

春休みに頑張ったことは、二つあります。

一つ目は、春休みの宿題に早く取りかかることです。なぜなら、宿題を後回し
にしてしまうと、復習がおろそかになるからです。

二つ目は、剣道の自主練です。道場のキャプテンとして頑張っていくために、自
主練に励んでもっと強くなりたいからです。

六年生での目標は、手熊小のリーダーとして責任感を持って学校生活を送る
ことです。勉強でも行事などでもこれまで以上に積極的に頑張っていくことで
深めていきます。

令和6年度 スタート!②～学校スローガンについて

皆様も御存知の通り、令和7年度をもって手熊小学校が閉校となることが決定いたしました。本日の始業式の校長の話の中でも子どもたちに改めて話をしたところです。

残された手熊小学校としての学校生活をどのように過ごすのか、手熊小学校を大切に思ってくださいる方々に何を伝えればよいのか等、子どもたちが自分ごととして捉え、行動してほしいと思っています。そこで令和6年度の学校スローガンを

君たちは 何をすべきか 君たちに 何ができるか
～自分で 学び 考え 行動できる 手熊っ子～

としました。能動的に活動できる子どもたちの育成を目指してまいります。